

2022年度
openam-dev
活動報告

アジェンダ

- コンソーシアム版 OpenAM 開発状況
 - OpenAM 開発
 - Web Agent 開発
 - コミュニティサイト

OpenAM 15 開発

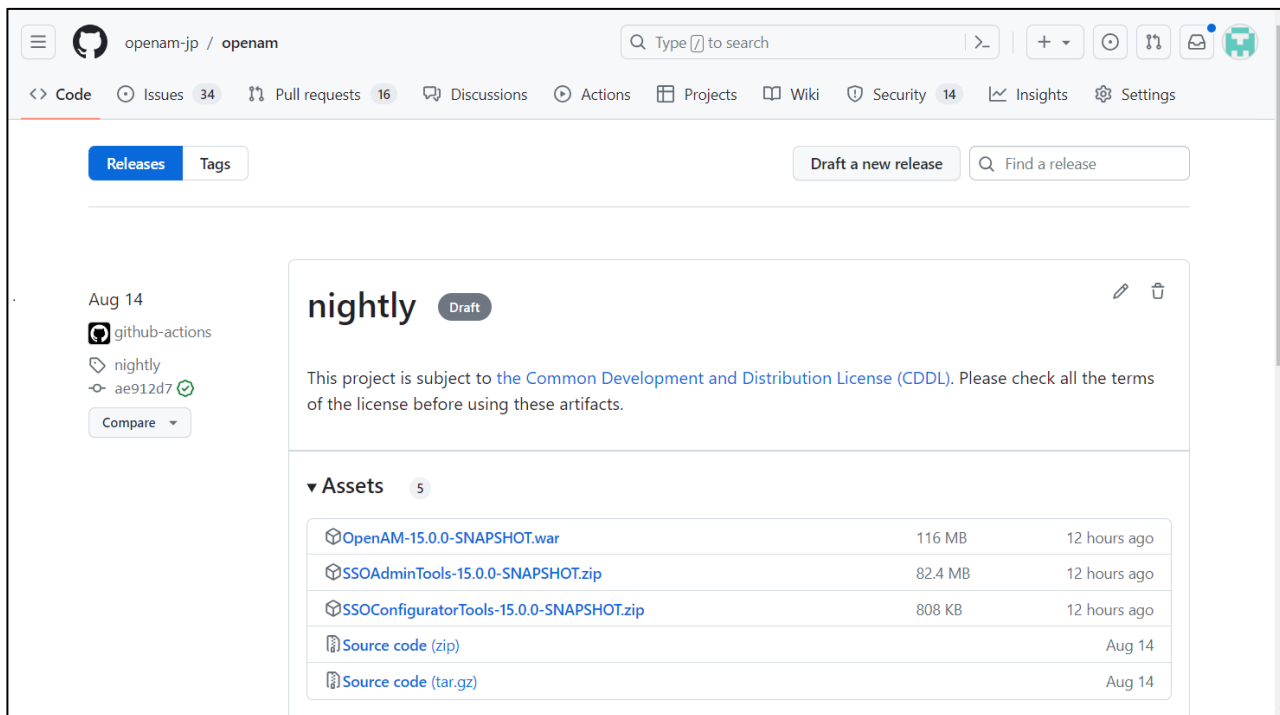
状況	バージョン情報を15.0.0-SNAPSHOTとして次バージョンの開発中。
実施内容	<ul style="list-style-type: none">□ セキュリティ FIX (5件)□ エンハンス (2件)□ バグFIX (6件)□ ライブラリアップデート (1件)□ Nightly Build 対応
今後の予定	<ul style="list-style-type: none">□ 3~4年のスパンで開発を想定□ 新規機能の検討・開発<ul style="list-style-type: none">➢ DevOps 推進➢ プロトコルの更新への追随 (OAuth/OIDC/WebAuthn)➢ REST API の拡充と XUI 化➢ ライブラリのアップデート・排除➢ OpenJDK 17 / 21 (次期 LTS 版) 対応➢ OGIS・OSSTech の独自機能の移行

◆ OpenAM 開発 – セキュリティFIX

- SAML1 の署名検証不備
- アクセス制御の不備
- 機密情報のログ出力
- サービス運用妨害 (DoS)
- ユーザーコードの強度不足

◆ OpenAM 開発 – Nightly Build 対応

- GitHub の CI 機能を利用して毎日ビルドを実施
- GitHub のリリースページからダウンロード可能



The screenshot displays the GitHub interface for the 'openam' repository. The 'Releases' tab is active, showing a draft release titled 'nightly'. The release description states: 'This project is subject to the [Common Development and Distribution License \(CDDL\)](#). Please check all the terms of the license before using these artifacts.'

Under the 'Assets' section, there are five items:

Asset Name	Size	Created
OpenAM-15.0.0-SNAPSHOT.war	116 MB	12 hours ago
SSOAdminTools-15.0.0-SNAPSHOT.zip	82.4 MB	12 hours ago
SSOConfiguratorTools-15.0.0-SNAPSHOT.zip	808 KB	12 hours ago
Source code (zip)		Aug 14
Source code (tar.gz)		Aug 14

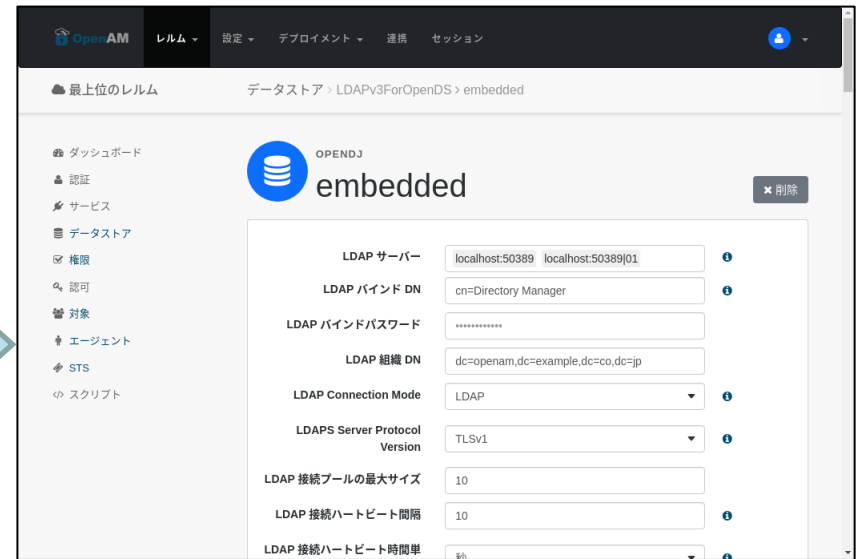
◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (1)

- 管理コンソールのリライト
 - SvelteKitというWeb開発フレームワークを利用してリライト中
 - 画像は開発中の管理コンソール（デザインは既存と変わらない）



OpenAM 開発 – 開発中の機能 (1)

- ユーザーデータストア管理用のREST APIを追加することで新管理コンソールではデータストア設定画面も新UIへ



◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (2)

- SAML メタデータ自動更新機能
 - Shbboleth IdP 互換機能
 - 日次でメタデータからSAMLエンティティを追加・更新することが可能

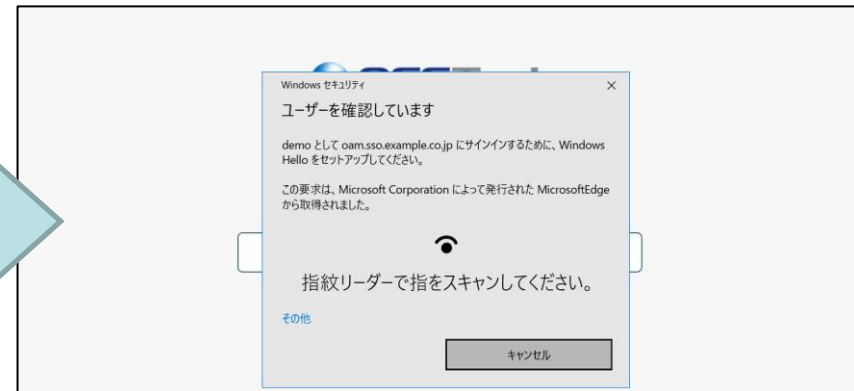
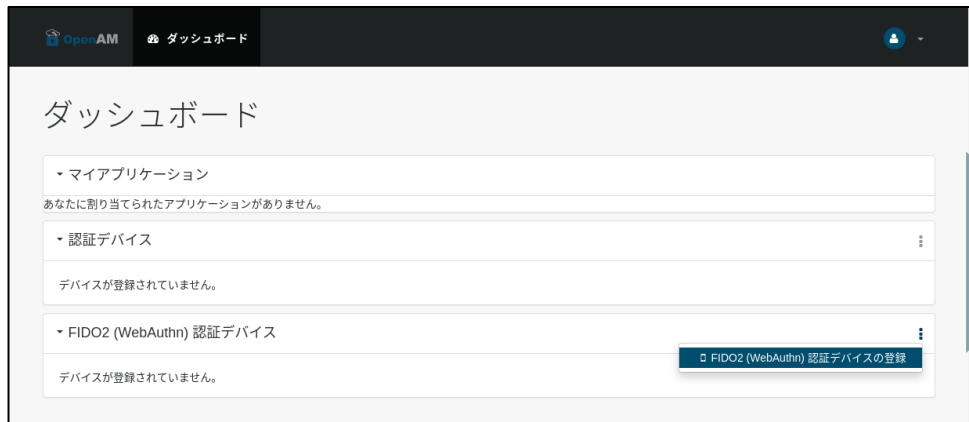


◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (3)

- SHA-2 / RHEL 9 対応
 - RHEL 9 では
jdk.certpath.disabledAlgorithms に SHA1 が含まれるため、デフォルトの JVM 設定では OpenAM の初期設定でエラーが発生してしまう
 - OpenDJ の管理者ポートの署名アルゴリズムを SHA256 に修正することで動作する

◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (4)

- FIDO デバイスをダッシュボードから登録する機能
 - 初回ログイン時のみメール OTP、次回以降は FIDO を使うような運用が可能



◆ OpenAM 開発 – 開発中の機能 (5)

- その他のエンハンス
 - SAML SP のデフォルト設定を定義する機能
 - SAML の署名アルゴリズムを SP 毎に指定する機能
 - SAML の署名アルゴリズムに合わせてダイジェストアルゴリズムも切り替える機能
 - 署名アルゴリズムが SHA256 ならダイジェストアルゴリズムも SHA256 とする

Agent 4.2 開発開始

状況	これまでコンソーシアム版として OpenAM を対象としてきた。 新たに Web Agent もフォークし、開発を開始した。 https://github.com/openam-jp/web-agents
実施内容	今年度は進捗無し。
今後の予定	OGIS、OSSTech のパッチをマージして 4.2.0 としてリリース予定。

コミュニティサイトの作成

状況	GitHub Pages でコミュニティサイトを作成。 https://openam-jp.github.io/ja/ 現時点のコンテンツはOpenAM 14のリリース時に GitHub wiki で公開した内容(リリースノートや新機能の説明など)。
実施内容	今年度は進捗無し。
今後の予定	コンテンツを拡充していく。新機能を追加した際に利用手順等を追加する。

OpenAM
コンソーシアム

<https://www.openam.jp/>